

沿道に彩りを

はまわし町内会では、平成18年から国道36号のグリーンベルト（全長670㍓）に種から育てた花を植えています。今年は約35人で手分けをして、マリーゴールド約1千100株を植え、その後も秋まで草取りや水やりなどを行いました。

丁寧な手入れによって、花々はきれいに咲き誇り、道行く人やドライバーの心を和ませます。

はまわし町内会

会長 室谷 隆



マスク姿で奮闘

登別東町4町会では、ごみの減量化と資源の有効利用を推進するため、資源回収活動を行っています。新型コロナウイルス感染症の影響で、2月以降実施できていませんでしたが、約半年ぶりに再開。各家庭の庭先に山積みになった段ボールや古新聞、古雑誌の積み込み作業は大変でしたが、会員は久しぶりの活動を楽しみました。

登別東町4町会

会長 藤田 隆



地域の景観づくり

幌別鉄南第5町内会では、国道36号沿いの松並木を会員10人の手で約2時間かけて剪定しました。平成21年度、海からの風よけや車の騒音軽減などを目的に植えられた松の木は、近年、手入れが出来ておらず、うっそうとした状態でしたが、風通しの良い松並木に。同町内会では、現在、松の下での懇親会を企画しています。

幌別鉄南第5町内会

会長 山田 新一



未来への植樹

中登別町内会では、地域の集会施設『白樺の家』の敷地内に八重桜20本を役員総出で植樹しました。直径約30㍓の老木約10本の伐採からはじめ、桜の苗木は鹿除けのネットで囲い、玄関前には花壇を造成して色とりどりの花を植え込みました。

近い将来、満開の桜が地域住民と観光客の心を癒やしてくれることを願っています。

中登別町内会

会長 藤澤 誠

